

舞台に長けたキャスト、 クリエイターの起用

主人公・明日待子は最近、活躍が目覚ましい古川琴音に決定。またショーシーンに向けて、ムーン・ルージュの看板俳優・山口正太郎に山崎育三郎、ムーン・ルージュのトップスター・高輪芳子に愛希れいか、待子の親友でライバル、二枚看板のアイドルとして活躍した小柳ナナ子に田村芽実と、ミュージカルの第一線で活躍する俳優たちがキャストラインアップされた。パンマス役には陰山泰。連続テレビ小説「ひよっこ」ではアコーディオンを演奏する食堂のおじさん役を好演。楽器の扱いに長けた役者だから出せるリアリティーでドラマを支えた。

ショーのクリエイターを誰にするのかも重要だ。まず音楽は舞台作品を多数手掛け、ミュージカルに造詣が深く、時代背景をよく知る、宮川彬良に白羽の矢が立った。振付は「ミカルでユニークなストーリー性を買われて、梅棒（天野）輝・楳木和也」とsuzuyakaを起用。梅棒はかつて紅白歌合戦で郷



須貝 富安
(正門良規)



高輪 芳子
(愛希れいか)



山口正太郎
(山崎育三郎)



小野寺とし子／明日待子
(古川琴音)

あらすじ

昭和11年、若手から上京した小野寺とし子（古川琴音）は、新宿の劇場ムーン・ルージュのオーディションを受ける。支配人兼プロデューサーの佐々木千里（椎名桔平）や劇場の看板女優・高輪芳子（愛希れいか）の目に留まり、劇場で働き始める。そんなある日、とし子にステージのセンターで歌い踊るチャンスが巡ってきた。半年後、とし子は名前を“明日待子”に変え、同僚の小柳ナナ子（田村芽実）らとともに若手グループを結成、圧倒的人気を誇るようになった。一方で、日本は戦争へと突き進み、看板俳優の山口正太郎（山崎育三郎）も出征。戦地のファンに応えるため、待子が決意したことは……。

ひろみの振付を担当した縁もあった。また時代性を考えたらタップダンスは必須だろうと、連続テレビ小説「つぞら」でタップシーンを手掛け、当時の知識を持つHideo Bohに依頼。ステージ経験の豊富なクリエイターがそろい、プロジェクトは進行していった。

ダンサー陣も ステージのプロが結集

4月の末にオリジナル曲ができて、5月前半には振付も完成。5月の半ばから2週間程度、俳優とダンサーがショーシーンの稽古に取り組んだ。ダンサーはオーディションで決定した、美麗、丹羽麻由美、

Nami Monroe、FUMI、鈴木百花、高橋卓士、ICHI、大山真志。そこにタップダンサーとしてKENICHIとnanaが加わり、総勢10名。アイドルチームは古川琴音、田村芽実をメインに、アイドルグループBEYOOONDSと、つばきファクトリーから選抜された9名が加わり、11名で結成された。

舞台経験の豊富なキャストたちは、振りが入るのもあっという間で、稽古は想定よりも速く進んだという。ただし、稽古と言っても舞台のように、一定期間、常に全員がそろって行えるわけではない。愛希れいかはセンターに立つシーンが多いこともあ

INFORMATION

特集ドラマ「アイドル」89分拡大版

8月29日（月）午後9:00～午後10:29

NHK-BSプレミアム／NHK-BS4K

作：八津弘幸 音楽：宮川彬良 出演：古川琴音 山崎育三郎 愛希れいか 正門良規 田村芽実 椎名桔平 ほか